

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年1月12日(火) 11:00～11:50

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. 平成28年度政府予算(案)における運営費交付金の状況について
2. 山形大学ビジュアルアイデンティティ(Visual Identity=VI)統一デザインの選考結果について
3. 山形大学の教育・研究紹介～地方創生を研究し、実践する～
4. 「新元素113番」本学研究者等が合成実験に参加
5. 第5回グリーンマテリアル成形加工研究センター(GMAP)国際シンポジウム開催について
6. 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動について

お知らせ

1. 平成28年度大学入試センター試験の取材について
2. 飯豊町と株式会社山形銀行との連携・協力の協定締結
3. プリンテッドエレクトロニクスに向けた新規印刷プロセス技術について
4. 「フランスで女性博士はどのように育成されるか」を開催します
5. 「未来の生活創造への女性の参画」を開催します
6. 「第4回ビジネスプランコンテスト全国大会」で志村勉教授が優秀教員賞を受賞
7. 「100年ごはん」鶴岡映写会&大林千菜^{ちぐみ}監督トークショー開催
8. 東北森林管理局・山形大学農学部連携シンポジウムを開催します
9. 学長主催特別講演会シリーズ(第3回)を開催します(再通知)
10. 「モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会 in 大蔵2016」を開催します
11. 平成28年度入試直前相談会を開催します

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成28年1月26日(火)11:00～11:50

場 所:事務局第一会議室(小白川キャンパス事務局棟3階)

⇒いつもと会場が異なりますのでご注意願います。

学長定例記者会見（1月12日）発表者

1. 平成28年度政府予算（案）における運営費交付金の状況について

こやま きよひと
小山 清人 学長

2. 山形大学ビジュアルアイデンティティ（Visual Identity=VI）統一デザインの 選考結果について

あべ こうじ
阿部 宏慈 理事・副学長（総務・広報担当）

3. 山形大学の教育・研究紹介 ～地方創生を研究し、実践する～

学術研究院 やまもと まさき
山本 匡毅 准教授

4. 「新元素113番」本学研究者等が合成実験に参加

学術研究院 とかない ふゆき
門叶 冬樹 教授

理学部技術員 たけやま みれい
武山 美麗 さん

理工学研究科1年 いしざわ さとし
石沢 倫 さん

5. 第5回グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP）国際シンポジウム開 催について

学術研究院 まつば ごう
松葉 豪 准教授

6. 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動について

学術研究院 ふくしま しんじ
福島 真司 教授

理学部1年 さいとう かずき
齋藤 航己 さん

平成28年 年頭のあいさつ

平成28年 1月 4日

山形大学長 小山 清人

1. はじめに

- ・大学を取り巻く社会情勢、山形大学の使命

2. 昨年の山形大学

- ・3つ方針、カリキュラム、学術研究院

3. 今年の上形大学

- ・第三期スタート、大学改革、教学と経営

4. 仕事にあたって

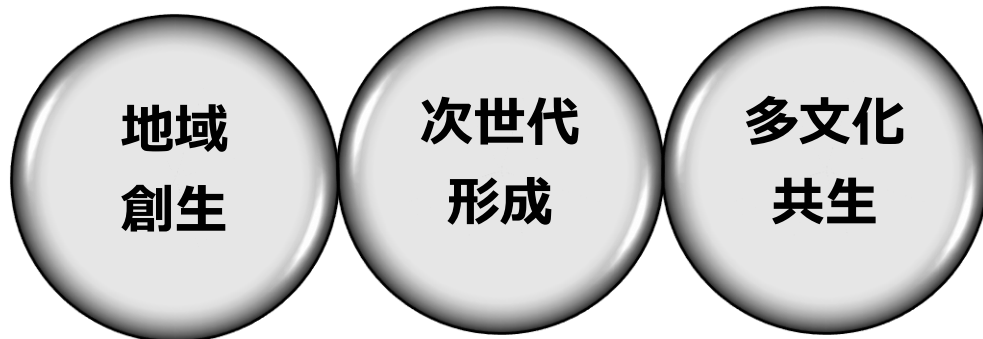
- ・労働生産性、挑戦と失敗、学生目線

5. おわりに

社会における役割・存在意義

—何を成すために山形大学が存在するのか—

(3つの使命)



組織のあるべき姿

—役割を果たすために何を為すのか—

山形大学は、「自然と人間の共生」をテーマとして、次の5つの基本理念に沿って、教育、研究及び地域貢献に全力で取り組み、国際化に対応しながら、地域変革のエンジンとして、キラリと光る存在感のある大学を目指す。

(5つの基本理念)

- 学生教育を中心とする大学創り
- 豊かな人間性と高い専門性の育成
- 「知」の創造
- 地域創生及び国際社会との連携
- 不断の自己改革

平成 28 年年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

山形大学の教職員のみなさんにおかれましては、すがすがしい新春を、ご家族とともにお祝いされたことと存じます。

私も、山形市の宿舎で、雪のない、静かな新年を迎えました。

1. はじめに

年頭にあって、まず、現状の把握からはじめます。世界は、経済の点で不安定な要素もありましたが、概ね順調な経済成長をしております。地球の人口増加も続いています。一方、テロなどのリスクも地球上に広がりつつあります。

国内では、金融政策や政治の力でデフレから脱却しつつありますが、少子高齢化による人口減少の実態は変わりありません。この人口減少社会に対して IT やロボット技術の進歩などによって、社会が必要とする職業も変わりつつあります。

大学を取り巻く身近な情勢については、少子高齢化の課題が国家予算に大きく影響を与えている状況は今年も変わりません。去年は厳しい国家財政の中、国立大学の予算に対する風当たりも強いものがありました。しかし、みなさんの大学改革への取り組みや情報発信のおかげで、国立大学の現状についての理解が得られました。来年度の国立大学全体の運営費交付金は昨年と同額となっています。ただし、各国立大学への評価による配分と予算の再配分の仕組みが導入されます。

国立大学への国民の期待はますます大きくなっています。我々は、その期待を意識して、教育と研究に取り組まなければなりません。それが、国立大学の第三期、さらには第四期での大学経営の安定化につながります。

山形大学では、今日のレジメにありますように、3つの使命「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」を定めています。「地域創生」は世界のモデルとなるような豊かな地域社会を作ることです。「次世代形成」は地域の、日本の、さらには世界の幸せな次世代社会を形成できる人材を育成することです。そして「多文化共生」は、多種多様な文化や環境、考え方を理解し、ともに良い社会を作ることです。

この3つの使命のもとに、組織のあるべき姿として、5つの基本理念「学生教育を中心とする大学創り」「豊かな人間性と高い専門性の育成」、「『知』の創造」、「地域創生および国際社会との連携」、「不断の自己改革」を持っています。

2. 今年の山形大学

続きまして、今年の山形大学について振り返ってみたいと思います。

学生教育の観点からは、3つの方針(3ポリシー)を改訂しました。本学の使命

と理念に沿って、「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受け入れの方針」を改訂し、大学全体と各教育課程との関係をより明確にしました。

さらには、教育ディレクター制度を活用し、全学の教育カリキュラムを1つのテーブルの上で比較し、チェックをしました。この教育ディレクターによるカリキュラムのチェックを、実際の授業にまで活かすことによって、山形大学の教育の特色を出していけると考えています。

教員の組織「学術研究院」も具体的に動き始めています。この学術研究院は、カリキュラムの柔軟な変革に対応できるように創設したもので、教育ディレクター制度と学術研究院との両輪をうまく動かすことによって、より良い山形大学の教育課程を作っていけるものと確信しています。

また、昨年度は学内広報誌『ぱれっと』、学長特別講演会、さらには、学長定例記者会見により多くの学生と教員に出席してもらうこと等によって、学内外への情報発信に力を入れた年でもありました。

3. 今年の山形大学

さて、今年の山形大学です。今年は何と言っても、第三期中期目標期間のスタートの年であります。

山形大学は第三期では、「主として、地域に貢献する取り組みとともに、特色のある分野で世界的な教育研究を推進する国立大学」と位置づけました。そして、新しい基盤教育への再構築、教育改革、世界的な研究拠点形成などの具体策を、数値目標をまじえて作成しました。

基盤教育は、新しい学位授与の方針に沿って、再構築した新たな教育システムとして29年度にスタートします。

学部教育改革については、今年、その詳細を確定し、29年度から新たに発足することを考えています。大学院の教育改革は28年度に有機材料システム研究科が発足し、その他は29年度以降に改革する予定です。いずれにしましても、本学の理念にありますように、教育改革は常に進めて行くことが重要であります。特に、今年は第三期のスタートの年であり、教職員みなさんに、大変な努力をお願いすることになりますが、ご協力をよろしくお願いします。

研究拠点に関しましては、ナスカの地上絵研究、総合スピン研究、ゲノムコホート研究、有機エレクトロニクス研究に加えて、新たな世界的な研究拠点の形成を支援し、その研究成果を広く世界に発信していきたいと考えています。

来る4月に作成するアニュアルプラン2016でも、これらの第三期中期目標を基にして、より精力的なアクションプランとする予定です。

また、国立大学法人と国立大学は、経営母体としての国立大学法人と、教学の実施組織としての国立大学とが、法律上きちんと区別されています。しかし、これまで山形大学では、この役割の違い、言い換えると、経営と教学における責任と権限の関係をあまり明確にできてきませんでした。第三期を迎えるにあた

り、山形大学の規則を整理し、法律との整合性をとりたいと考えています。

4月には、人文学部長、地域教育文化学部長、農学部長、附属病院長が交代します。みなさんで新部局長を支えて、それぞれの部局が今まで以上に、世界を牽引する教育研究拠点あるいは診療拠点として更に発展することを期待しています。

4. 仕事にあたって

日本、特に山形県の人口減少には著しいものがあります。人口の減少を抑えること、また人口減少の中でも経済的に、そして精神的に豊かな社会を作ることが山形大学の役割であります。人口減少社会においては、一人一人の労働生産性を向上させることが重要となるのです。山形大学は、創造性が豊かで、高い付加価値を生み出せる人材を輩出する必要があります。そして、そのような能力をもった人材を育成するには、我々教職員自身の労働生産性を向上させなければなりません。

昨年、職場における労働生産性の向上を職員のみなさんにお願ひしました。それは山形大学の人材育成における風土作りをしたいとの私の思いであります。労働生産性の向上によって、職場の仕事に従事する時間を減らすことができます。それが生み出す余裕の心で、より良い山形大学づくりを考えていきましょう。

そして、教職員のみなさんは、新たなことに挑戦して下さい。挑戦なくして大学の発展はないと考えます。挑戦には、失敗がつきものです。失敗を前提としたシステムづくり、失敗を許し、みんなで迅速にカバーできる雰囲気づくりをしたいものです。

そのためには、目の前の人を気持ち意識してコミュニケーションをし、考え、意志決定をし、行動しましょう。学生達から難しい注文があったとき、それが山形大学を変えるチャンスであると考えましょう。みなさんには、学生の目線を意識する習慣を身につけるようお願いいたします。

仕事は、とかく厳しく、きついものであります。そうであるがゆえに、みなさんには楽しんで仕事をしていただきたい。

5. おわりに

最後になりましたが、これからの1年間、より良い山形大学を目指して、みなさんひとりひとりが健康で、余裕を持ちながら、楽しく仕事ができることを祈念しまして私の年頭の挨拶とします。

山形大学 産学連携実績（平成26年度） （民間企業との共同研究）

○実施件数（全国の大学等 計1,036機関）

No.	機関名	件数	区分	前年度 No.
1	東京大学	1,371		1
2	大阪大学	862		3
3	京都大学	860		2
4	東北大学	829		4
5	九州大学	577		5
6	東京工業大学	483		6
7	名古屋大学	457		7
8	慶應義塾大学	451	私	9
9	北海道大学	437		8
10	神戸大学	361		10
11	信州大学	314		12
12	広島大学	310		11
13	早稲田大学	307	私	15
14	山形大学	304		16
15	筑波大学	291		14

○研究費受入額（単位：千円）（全国の大学等 計1,036機関）

No.	機関名	受入額	区分	前年度 No.
1	東京大学	4,840,830		2
2	京都大学	4,792,490		1
3	大阪大学	3,215,597		4
4	東北大学	2,743,606		3
5	九州大学	1,901,041		5
6	慶應義塾大学	1,585,213	私	6
7	名古屋大学	1,431,172		7
8	東京工業大学	1,409,436		8
9	北海道大学	994,079		10
10	早稲田大学	592,542	私	11
11	神戸大学	581,319		12
12	山形大学	571,328		16
13	名古屋工業大学	524,376		13
14	筑波大学	483,879		20
15	千葉大学	473,884		15

《個別実績》

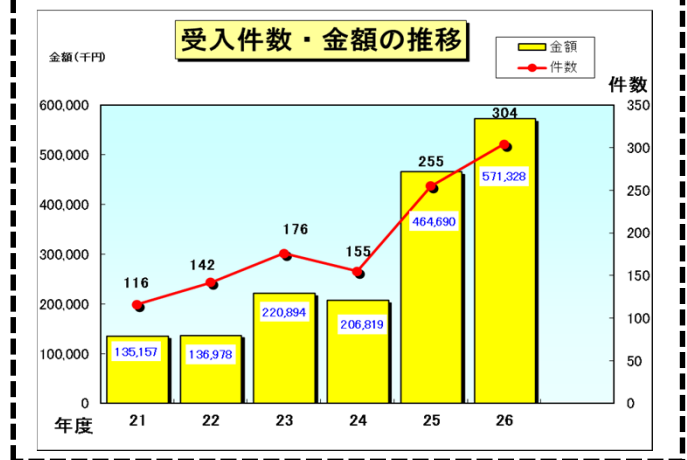
【全国 1位】

○平成21年度から平成26年度において、受入額の平均伸び率が大きい機関

No.	機関名	平均伸び率	区分
1	山形大学	約40.8%	
2	東海大学	約15.6%	私
3	名古屋工業大学	約14.9%	
4	長岡技術科学大学	約13.8%	
5	山口大学	約13.4%	
6	早稲田大学	約13.0%	私
7	京都大学	約12.7%	
8	熊本大学	約11.5%	
8	筑波大学	約11.5%	
10	名古屋大学	約11.2%	

※平成21年度から平成26年度において、共同研究実施件数が各年度100件以上の機関を対象

【山形大学における各年度毎の状況】



【全国 2位】

○研究者数1,000名以上～1,500名未満（計25機関）

No.	機関名	受入額	件数	区分
1	東京工業大学	1,409,436	483	
2	山形大学	571,328	304	
3	信州大学	399,294	314	
4	東京理科大学	376,083	188	私
5	徳島大学	344,896	200	
6	山口大学	329,894	164	
7	熊本大学	326,176	209	
8	三重大学	307,970	209	
9	金沢大学	251,731	217	
10	東京医科歯科大学	243,333	90	

【全国 3位（国立大学1位）】

○実務担当者数10名以上～20名未満（計39機関）

No.	機関名	受入額	件数	区分
1	慶應義塾大学	1,585,213	451	私
2	早稲田大学	592,542	307	私
3	山形大学	571,328	304	
4	名古屋工業大学	524,376	238	
5	筑波大学	483,879	291	
6	広島大学	433,862	310	
7	東京農工大学	375,749	238	
8	徳島大学	344,896	200	
9	岡山大学	337,156	227	
10	熊本大学	326,176	209	

（出展元）文部科学省：平成27年12月25日
平成26年度大学等における産学連携等実施状況について

※実務担当者とは、主たる業務として産学官連携の実務を行うコーディネーター等

平成28年1月12日
山形大学

平成28年度政府予算(案)における 運営費交付金の状況について

1. 運営費交付金

平成28年度予算額(案)	10,924百万円
平成27年度予算額	11,488百万円
増減額	▲564百万円(4.91%減)

※平成27年度予算額には、復興特別会計分を含む。平成28年度予算においては、復興特別会計の計上なし。

※主な増減要因は、退職者の減に伴う退職手当の減、PCB廃棄物処理事業完了に伴う処理費の減等。

2. 機能強化経費(機能強化促進分)関係

平成28年度より、従来の「特別運営費交付金」(プロジェクト経費等)が見直され、「機能強化経費」が新設された。そのうち「機能強化促進分」については、三つの重点支援の枠組みの中から各大学が支援を受ける枠組みを選択し、自大学のビジョンとその実現に向けた戦略を実施するための経費。山形大学は、重点支援①(※)を選択、以下のビジョン及び戦略の実施経費が措置。

【ビジョン】

「地域創生」・「次世代形成」・「多文化共生」を使命とし、学生教育を中心とする大学創り、豊かな人間性と高い専門性の育成、「知」の創造、地域創生及び国際社会との連携、不断の自己改革という5つの基本理念に沿って、教育、研究及び地域貢献に全力で取り組み、国際化に対応しながら、地域変革のエンジンとして、キラリと光る存在感のある大学を目指す。

戦略① 学生の実践力・人間力の育成(基盤教育改革と国際化対応)

戦略② 人口減の抑制、新産業の創出等、地域課題に向き合い地域を変革する人材養成(学部改革・大学院改革)

戦略③ 発展的研究拠点の拡充と形成推進(特色ある研究拠点形成)

※重点支援①: 主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

3. その他(施設整備費補助金)

- 次世代型重粒子線がん治療装置の開発に向けた革新的技術開発
(平成28年度予算)

(お問い合わせ)
財務部財務課
電話: 023-628-4041

運営費交付金額の増減(山形大学)

平成27年度予算額

11,488百万円

(復興特別会計分を含む)

11,459百万円

一般運営費交付金 9,453百万円
特別運営費交付金 497百万円 (プロジェクト分 等)
特殊要因運営費交付金 1,509百万円 (退職手当、PCB廃棄物処理費 等)
一般運営費交付金 復興特別会計 30百万円

平成28年度予算額(案)

10,924百万円

10,924百万円

基幹運営費交付金 9,606百万円 ※機能強化経費除く
機能強化経費 502百万円 (機能強化促進分 等)
特殊要因運営費交付金 815百万円 (退職手当 等)
復興特会の計上なし

※ 百万円未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

平成28年1月12日

山形大学

山形大学ビジュアルアイデンティティ（Visual Identity=VI） 統一デザインの選考結果について

山形大学では、本学のイメージを統一し、存在価値を高めるために現在のロゴを用いた統一デザインを整備することとし、本学の学生、教職員、卒業生等を対象にデザインの公募を行いました。（募集期間：平成27年7月1日（水）～平成27年10月15日（木））応募件数32件の中から、学内での厳正なる審査の結果、次のとおり入賞者を決定しました。

今後、最優秀賞のデザインをベースにマニュアルを整備し、平成28年4月から新デザインを使用することとしています。

1. 経緯

山形大学のロゴマークは、平成13年に公募により制定され、現在では山形大学のロゴとして定着していますが、ロゴタイプの文字の指定がないなど、イメージは統一されていません。露出の多い視覚的情報を整理、統一することにより山形大学のイメージを統一し、存在価値を高めるために、現在のロゴを用いた統一デザインを整備することとし、デザインを公募しました。

2. 審査結果

■最優秀賞1名

さいとうけんた
齋藤堅太（山形市・会社員）地域教育文化学部2015年3月卒業



■優秀賞5名（五十音順）

いがわさちこ
井川祥子（東京都・グラフィックデザイナー）教育学部1994年3月卒業

ごうだちさと
合田智聡（鶴岡市・学生）農学部3年

すずきさとし
鈴木敏志（山形市・グラフィックデザイナー）工学部1998年3月卒業

たけだようすけ
武田陽介（仙台市・会社員）人文学部2006年3月卒業

まるいち はるか
丸市 遥（山形市・会社員）地域教育文化学部2012年3月卒業

■表彰式

日時：平成28年1月12日（火）16：30～17：00

場所：事務局第一会議室

（お問合せ先）

総務部総務課広報室 菅井

電話 023-628-4010

平成28年1月12日
山形大学

山形大学の教育・研究活動紹介 ～地方創生を研究し、実践する～

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする山形大学の“**旬な教育研究**”を紹介します。今回は学術研究院（人文学部担当）の山本匡毅^{やまもとまさき}准教授の「地方創生を研究し、実践する」です。

1. 教育の概要

山形大学人文学部法経政策学科のゼミである「地域政策論演習」では、地域の実態を理解するためにフィールドワークを重視しています。夏期合宿では、地域政策の先進事例を調査しています。訪問先と調査テーマは以下の通りです。

- ・2013年：兵庫県神戸市 震災復興のまちづくり
- ・2014年：香川県高松市、観音寺市 中心市街地の活性化
- ・2015年：福井県鯖江市 人口増加自治体の地域づくり

今年度の地域政策論演習では山形県内の自治体から委託調査を受け、学生が地域課題の解決に取り組んでいます。調査テーマは「移住」となっており、参加学生は対象地域を1年間で3回以上訪問しています。その中では単に調査をするだけでなく、地域住民の皆様との交流を通じて、社会人としての力も育成しています。

2. 研究の概要

最近の研究では「機械製造業の集積形成」について、経済地理学の観点から研究しています。対象業種は航空機産業と医療機器産業で、国の定める成長産業と合致しています。研究では論文作成や学会発表のみならず、全国各地の産業クラスターの支援を、セミナーでの講演などを通じて行っています。

3. 研究の成果

研究の成果として、2015年に以下の2冊の共著を出しました。法政大学比較経済研究所・近藤章夫編『都市空間と産業集積の経済地理分析』日本評論社（第4章「航空機産業のグローバルな生産立地と国内産業集積の形成」担当）、山崎朗編著『地域創生のデザイン』中央経済社（第6章「中部圏における航空宇宙産業クラスターの創出」担当）。注目される日本の航空機産業の強みと課題を明らかにしました。

（お問合せ先）

学術研究院（人文学部担当）准教授

やまもとまさき
山本匡毅

電話：023-628-4794

Mail：yamanasu@human.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年1月12日
山形大学

「新元素113番」 本学研究者等が合成実験に参加

2015年12月31日（日本時間）に、国際機関が「新元素113番」を理化学研究所 仁科加速器研究センターの研究グループが発見したと認定しました。この113番元素の合成実験に本学からも研究者等が参加し、合成成功に貢献しました。

1 原子番号113番の新元素とは？

今回、アジアで初めて新元素として国際的に認定された**113番元素**は、理化学研究所（理研）仁科加速器研究センターで10年近い年月をかけ発見されたものです。

原理としては、亜鉛（Zn原子番号30、陽子数30個）の原子核とビスマス（Bi原子番号83、陽子数83個）の原子核を衝突させ、融合させることによって $30+83=113$ 番元素となります。

2 山形大学の参画と貢献

理研仁科加速器研究センターの森田浩介グループディレクター（九州大学教授）の率いる研究グループの一員として、本学からは、学術研究院（理学部担当）の門叶冬樹教授（原子核・宇宙物理）らの研究グループが、2000年から合成実験に参加しました。

本学関係者は、仁科加速器研究センターにおいて、観測、データ解析、合成実験のモニター開発、検出器開発等を行い、2005、2012年の合成成功に貢献しました。

3 今後の教育研究について

北海道、東北地方の大学法人では本学のみが所有する高感度加速器質量分析装置（AMS）にも、今回の新元素合成実験で使用した「分析装置の原理」が組み込まれています。AMSは、考古学、文化人類学、医学、農学、工学、環境科学、宇宙物理学などの幅広い研究分野で大きな貢献が期待できます。また、今後、森田グループディレクターを本学にお招きして、ヤマガタサイエンスアカデミー*でご講演いただくことを予定しています。

*ヤマガタサイエンスアカデミー

科学技術振興機構の補助を受け、山形大学と連携機関が理数系分野に卓越した県内の選抜された小中学生を対象として、科学を基盤とする未来を担う人材を育成するプログラム

<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/ysa/> 参照

（お問合せ先）

学術研究院（理学部担当）教授 とかない ふうき 門叶 冬樹
（高感度加速器質量分析センター長）

電話：023-628-4554

Mail：tokanai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年1月12日
山形大学

第5回グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP）

国際シンポジウム開催について

グリーンマテリアル成形加工研究センターは、ライフ3Dプリンタ創成センターと次世代自動車用プラスチック素材加工研究センターの共催で、1月22日～23日に若手主体の国際シンポジウムを開催いたします。

山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP:代表 伊藤浩志教授）は、ライフ3Dプリンタ創成センター（LPIC:代表 古川英光教授）と次世代自動車用プラスチック素材加工研究センター（NGAP:代表 伊藤浩志教授）との共催で、H28年1月22日～23日に山形大学米沢キャンパスにて国際シンポジウムを開催します。多くの方のご来訪をお待ちしております。

日程 平成28年1月22日～23日
場所 山形大学 米沢キャンパス 100周年記念ホール
参加 無料（懇親会（1月22日）は実費）

内容 グリーンマップ成形加工研究センターは、これまで、センターのアクティビティを示すとともに、欧米諸国、アジア諸国との若手研究者とのより強固な連帯を目的に、毎年1月下旬に国際シンポジウムを開催しています。2010年から開催しており、本年は5回目となります。今回は、特にライフ3Dプリンタ創成センターと次世代自動車用プラスチック素材加工研究センターも共催に加わり、より広い分野からの研究者を招待し、国際シンポジウムを開催することになりました。

今回は内閣府・革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現」プロジェクトリーダーの伊藤耕三先生、台湾国立科技大学の今栄東洋子先生にもご講演を頂く予定になっております。多くの方のご来訪をお待ちしております。

（お問合せ先）
学術研究院（機能高分子工学専攻）
准教授 松葉 豪
電話 0238-26-3053

第5回GMAP/NGAP/LPIC合同国際シンポジウム

The 5th International Symposium of Green MAP Center, NGAP and LPIC

Jan 22 (Fri) - 23 (Sat), 2016

The 100th Anniversary Hall, Yamagata University, Yonezawa, Japan
(4-3-16 Jonan, Yonezawa, Yamagata, Japan)

<http://ngap.yz.yamagata-u.ac.jp/index.html>

This is the 5th International Symposium of Research Center for GREEN Materials and Advanced Processing, Yamagata University (GMAP), which has been held from 2010. This time, other two Yamagata University's world-leading research centers, Life-3D Printing Innovation Center (LPIC) and Research Center for Next Generation Automotive Plastics and Processing (NGAP) cohost the symposium. Famous 14 researchers are invited from all around the world. Active discussions will continue for two days on polymer, metal, device and sensor, etc. The symposium participation is free. Hope you come and join us.

Lecturers:

Prof. Masatoshi Shioya (Tokyo Inst. Tech., Japan)
Prof. Takushi Saito (Tokyo Inst. Tech., Japan)
Prof. Hideyuki Otsuka (Tokyo Inst. Tech., Japan)
Prof. Hyun Wook Jung (Korea University, Korea)
Prof. Junpei Sakurai (Nagoya University, Japan)
Prof. Yuji Shibasaki (Iwate University, Japan)
Dr. Sadayuki Kobayashi (Toray Co. Ltd., Japan)
Dr. Husiyin Ren (Ninbo Fwmaterials Co. Ltd., China)
Prof. Shotaro Nishitsuji (Yamagata University, Japan)
Prof. Anja Boisen (Technical University of Denmark, Denmark)
Prof. Vijay Varadan (The Pennsylvania State University, USA)
Prof. Jin Woo Choi (Louisiana State University, USA)
Prof. Kohzo Ito (University of Tokyo/JST, Japan)
Prof. Toyoko Imae (NTUST, Taiwan)

Welcome Party:

18:00~20:30 Jan 21, Café Azuma

Banquet:

17:00~19:30 Jan 22, Tokyo Dai-ichi Hotel Yonezawa



 YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学

 Yamagata University
Research Center for GREEN Materials and Advanced Processing

 Life-3D Printing
Innovation
Center (LPIC)
GMP

 Research Center for Next
Generation Automotive Plastics
and Processing (NGAP)

Supported by
Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront), Yamagata University.

第5回GMAP/NGAP/LPIC合同国際シンポジウム

The 5th International Symposium of Green MAP Center, NGAP and LPIC

2016年1月22日（金）～23日（土）

山形大学工学部, 100周年記念館 (山形県米沢市城南4-3-16)

<http://ngap.yz.yamagata-u.ac.jp/index.html>

本国際シンポジウムは、山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター（GMAP）は2010年から開催しており、本年は5回目となります。今回は、特にライフ3Dプリンタ創成センター（LPIC）と次世代自動車用プラスチック素材加工研究センター（NGAP）も共催に加わり、欧米諸国、アジア諸国から著名な研究者を招待し、ポリマーや金属、デバイス、センサー等より広い分野の研究について、2日間にわたって活発な議論を行う。講演会参加は無料となっておりますので、多数の皆さまのご出席をお待ちしております。

講演者:

塩谷正俊氏（東京工業大学, 日本）

齊藤卓志氏（東京工業大学, 日本）

大塚英幸氏（東京工業大学, 日本）

Hyun Wook Jung氏（Korea University, 韓国）

櫻井淳平氏（名古屋大学, 日本）

芝崎祐二氏（岩手大学, 日本）

小林定之氏（東レ株式会社, 日本）

任懷銀氏（Ninbo Fwmaterials Co. Ltd., 中国）

西辻祥太郎氏（山形大学, 日本）

Anja Boisen氏（Technical University of Denmark, デンマーク）

Vijay Varadan氏（The Pennsylvania State University, 米国）

Jin-Woo Choi氏（Louisiana State University, 米国）

伊藤耕三氏（東京大学/JST, 日本）

今栄東洋子氏（国立台湾科技大学, 台湾）

ウェルカムパーティ:

1月21日, 18:00～20:30, カフェ吾妻

バンケット:

1月22日, 17:00～19:30, 東京第一ホテル米沢



 YAMAGATA UNIVERSITY

 Yamagata University
Research Center for GREEN Materials and Advanced Processing

 Life-3D Printing
Innovation
Center (LPIC)

 Research Center for Next
Generation Automotive Plastics
and Processing (NGAP)

Supported by
Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront), Yamagata University.

The 5th International Symposium of Green MAP Center, NGAP and LPIC

Jan 22 (Fri) -23 (Sat), 2016

The 100th Anniversary Hall, Yamagata University, Yonezawa, Japan (4-3-16 Jonan, Yonezawa, Yamagata, Japan)

<http://ngap.yz.yamagata-u.ac.jp/index.html>

- Jan 21** 18:00-20:30 Welcome Party (Café Azuma)
- Jan 22** 9:00 - 9:15 Opening Address
Hiroshi Ito (Professor, Director of GreenMAP and NGAP Research Center, Yamagata University)
- 9:15 - 9:25 Welcome Speech
Hiroshi Iizuka (Professor, Dean of Faculty of Engineering, Yamagata University)
- 9:30 -10:15 Stability and Sensitivity in Rheological Processes: Fiber, Film, and Coating
Hyun Wook Jung (Korea University, Korea)
- 10:15-11:00 Dynamic Covalent Polymers with Self-healing and Mechanochromic Properties
Hideyuki Otsuka (Tokyo Institute of Technology, Japan)
- 11:00-11:45 High Formable Shape Memory Alloys
Junpei Sakurai (Nagoya University, Japan)
- 11:45-13:00 Lunch
- 13:00-14:00 Preparation and Electrochemical Activity of Graphene Composites
Toyoko Imae (National Taiwan University of Science & Technology, Taiwan)
- 14:00-14:45 Nano-alloys
Sadayuki Kobayashi (Toray Industries, Inc., Japan)
- 14:45-15:00 Coffee Break
- 15:00-15:45 Wearable Wireless Textile Based Nanosensor System for Early Detection of Concussion and Cardiac Arrest of Football Players
Vijay Varadan (The Pennsylvania State University, USA)
- 15:45-16:30 Synthesis of Well-defined Aramide Molecules and The Copolymerization with Flexible Aliphatic Polymers
Yuji Shibasaki (Iwate University, Japan)
- 17:30-20:00 Banquet (Tokyo Dai-ichi Hotel Yonezawa)
- Jan 23** 9:00 -10:00 Biosensing and Oral Drug Delivery Using Micro and Nano Structures
Anja Boisen (Technical University of Denmark, Denmark)
- 10:00-10:45 Intrinsic Strength of Carbon Fibers
Masatoshi Shioya (Tokyo Institute of Technology, Japan)
- 10:45-11:00 Coffee Break
- 11:00-11:45 Printed Nanomaterials for Sensor Applications
Jin-Woo Cho (Louisiana State University, USA)
- 11:45-13:00 Lunch
- 13:00-14:00 Slide-ring materials: Novel concept for tough polymers
Kohzo Ito (Tokyo University, Japan)
- 14:00-14:45 Structure Analyses of Rubber/Filler System under deformation by using time resolved SAXS method
Shotaro Nishitsuji (Yamagata University, Japan)
- 14:45-15:00 Coffee Break
- 15:00-15:45 Impact and Importance of Heat Transfer during Thermoplastic Polymer Processing -Application of Radiation Heating-
Takushi Saito (Tokyo Institute of Technology, Japan)
- 15:45-16:30 Applications of Resonance Shear Measurements in Studying Friction of Polymer Hydrogels
Huaiyin Ren (Ningbo Fwmaterials Co., LTD, China)
- 16:30-16:35 Closing Remarks
Hiroshi Ito (Professor, Director of GreenMAP and NGAP Research Center, Yamagata University)

 YAMAGATA UNIVERSITY

 Yamagata University
Research Center for GREEN Materials and Advanced Processing

 Life-3D Printing
Innovation
Center (LPIC)

 Research Center for Next
Generation Automotive Plastics
and Processing (NGAP)

supported by
Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront), Yamagata University.

平成28年1月12日
山形大学

山形大学学生の継続的被災地復興支援活動

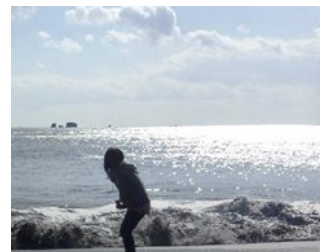
参加者募集！ 浦戸諸島桂島観光再生ツアー ～ 笑顔であいあふれる 桂島ツアー ～

◇東日本大震災の被災地塩釜市浦戸桂島の復興支援のため、震災の年から継続して5期目の『浦戸諸島桂島観光再生ツアー』を実施します。

日本三景松島の唯一の有人島である浦戸四島の一つ桂島で、東日本大震災から力強く復興を始めている桂島のみなさんとお客様との心と心を繋ぎ、参加する全ての方々の「笑顔」を作ることを目的に、山形大学学生有志が実施します。

桂島特産の牡蠣を取れたてのまま焼き、剥いて食べたり、島をクルーズしたり、森を散策したり、松島の絶景を海側から堪能したりと、普段の生活の中ではできない体験を満喫できます。コンビニも、信号もない、心安らぐ海と緑の自然の中で、取れたてのブランド牡蠣、海苔を、心ゆくまでご堪能ください。

- ◇日程【第一回】平成28年1月30日（土）～1月31日（日）
【第二回】平成28年3月12日（土）～3月13日（日）
参加費：1泊4食付き大人12,900円（小人9,800円）
行程・内容等：詳細は別添資料参照。



◇本ツアーは、基盤教育科目「現代社会を生き抜くためのプレゼンテーション学」受講生のうち14名が企画・運営を担当し、「実践的コミュニケーション学」受講生（本学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学）、本授業のOBOGを加え約60名の学生が運営協力・広報等のマーケティング活動を担当しています。

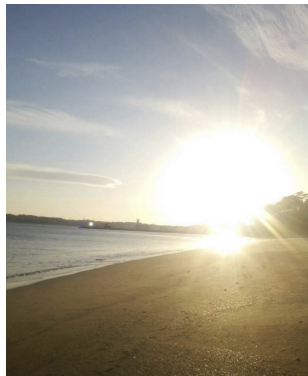
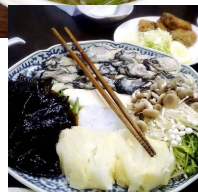
◇2011年から継続して浦戸諸島で支援活動を実施していますが、その過程で紡いだ桂島のみなさんとの深い繋がりから、「浦戸諸島観光再生プロジェクト」が生まれました。これまで日帰りのものを含め14回のツアーを実施しています。

◇1月31日（日）には、同日開催のイベントとして、震災後5回目になる新春餅つき大会を開催します。本学周辺の東部地区住民のみなさん、NPO法人山形自立支援創造事業舎みちのく屋台こんにやく道場、大曾根餅つき保存会、山形芋煮カレーうどん寄合のみなさんも参加し、オール山形で桂島を応援します！

◇これまでの浦戸諸島での復興支援活動について

2011年6月18日から、2011年度～2015年度基盤教育科目「実践的キャリア教育学」「現代社会を生き抜くためのプレゼンテーション学」「実践的コミュニケーション学」の受講生を中心に、受講生以外の有志学生、山形のNPO等（NPO法人山形自立支援創造事業舎みちのく屋台こんにやく道場、大曾根餅つき保存会、NPO法人オープンハウスこんぺいとう、NPO法人ディーコレクティブ、NPOハーバランス）との協働のもと、山形の地元企業（（有）山形E旅、（株）アイ・エム・シー、（株）セロン東北、やまがたシティエフエム（株）、ウェブオンライン）の協力も得ながら、これまでのべ1,500名以上の学生が活動に参加しています。

2012年2月には「浦戸桂島復興連絡協議会」を発足させ、宮城県、塩竈市、東北大学、一般社団法人e-front、公益財団福祉法人さわやか福祉財団、国連大学等と会議を運営（これまで計41回開催）し、観光再生を含む復興プランの策定等を継続して行っています。



今年もやります！
**オール山形
新春餅つき大会**

開催日 … 1月31日(日)

時間 … 11:30～13:30

場所 … ステイステーション

餅つきに加え、山形名物
玉こんにやく・芋煮カレーうどんもご用意！

餅つき大会にお越し頂けない方のために、お餅を宅配します。(11時から順次)
※詳しくは別紙の注文紙をご覧ください。

参加費無料！ぜひお越しください！！

13:00～

**山大生がかかるた大会を開催します！
お楽しみに！（豪華景品あり）**

〈お問い合わせ先〉
山形大学 人文学部 4年 土屋 辰徳
[TEL] 080-1819-1133



(お問い合わせ)

【授業担当教員】

山形大学エンロールメント・マネジメント部

教授 福島 真司 (ふくしま しんじ)

(TEL) 023-628-4061

(e-mail) shinji-fukushima@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【学生代表】

山形大学理学部数理科学科

1年 齋藤 航己 (さいとう かずき)

(TEL) 080-3630-9141

(e-mail) kazuki0411ty@gmail.com

🚢 発見! 新しい出逢い



旅は島から攻める

笑顔であいあふれる

桂島ツアー

1泊4食付!

第1回

1/30~1/31

募集期間: 1/23まで

第2回

3/12~3/13

募集期間: 3/5まで

料金

大人 12,900円

子供 9,800円

島自慢の「牡蠣」たっぷり食べられます!

ツアー申し込み、詳しい情報はこちらから!!
<http://tour.yamant.com>

山形大学 × 東北芸術工科大学 × 東北公益文科大学 Presents



① 1/30~1/31

募集期間: 1/23まで

② 3/12~3/13

募集期間: 3/5まで

桂島

【katsurashima】

松島を構成する浦戸諸島のひとつ。
グルメも自然も、人も
魅力がぎゅっと詰まった
「桂島」に一度遊びに来ませんか?



桂島ツアー

おすすめ
グルメ



▲焼牡蠣

▼牡蠣汁



▲海苔

▼牡蠣カレー



料金

大人 12,900円
子供 9,800円

<お申し込み先>

募集型企画旅行 (有) 山形E旅
〒990-0811
山形県山形市長町4-5-43
総合旅行業務取扱管理者: 金田史生
【TEL】023-681-3139
【mail】mail@yamagata-etabi.com
【営業時間】月曜~土曜 9:00-18:00
【定休日】日曜・祝祭日
登録番号: 山形県知事登録旅行業2-237号
加盟団体: 社団法人全国旅行業協会

<お問い合わせ先>

山形大学
浦戸諸島桂島観光再生プロジェクト
<http://tour.yamant.com>
【代表】山形大学 理学部 数理科学科
斎藤航己 (サイトウカズキ)
【TEL】080-3630-9141
【mail】kazuki0411ty58@yahoo.co.jp

1日目

07:00 山形大学出発
07:15 山形駅出発
07:30 県庁出発
09:53 桂島到着
10:00 島民との交流
12:00 昼食(牡蠣カレー)
14:00 島巡り
19:00 夕食(各民宿にて)
星空鑑賞(自由参加)

2日目

朝日鑑賞(自由参加)
朝食(各民宿にて)
08:00
09:00 お土産作り
船で周遊
12:00 昼食(焼き牡蠣)
14:31 桂島出発
16:50 県庁到着
17:00 山形駅到着
17:10 山形大学到着

【注意事項】●民宿での宿泊となりますので、1名でのご参加の場合、同性の方と相部屋になる場合があることをご承知ください。カップルや2~4名様のご家族、グループでご参加の場合、1部屋でのご利用を確約いたします。(お部屋のタイプは1部屋につき、シングルベッド2名分、ソファベッド1名分、ロフト1名分の4名タイプ、また和室もございます。) ●民宿にはアメニティ(歯ブラシ、タオル、ドライヤー等)や浴衣はございませんので、ご持参ください。●防寒対策を各自しっかりと準備してください。ツアー内で小型船に乗ることや、夜外出する場合がございます。●部屋数が理まり次第、募集を締め切らせていただきます。参加ご希望の際は、お早目にお申込みください。●最少催行人数: 1名 ●食事条件: 1日目昼・夜、2日目朝・昼 ●添乗員・バスガイドの同行はいたしません。山形大学学生が様々なサポートをいたします。●料金に含まれないもの: 飲料、お土産等の個人的性質の諸費用、また上記以外のもの ●天候や道路交通事情などにより、コースや時刻が変更となる場合がございます、ご了承ください。●山形県以外からのご参加も受け付けておりますので、ご希望の方はお申込みの際にご相談ください。●アレルギー等ありましたら、お申込みの際にご相談ください。●お申込み方法: 電話、FAX、電子メールにてお問い合わせください。こちらから必要書類を送らせていただきます。特定の申込書に記入の上、各出発日の1週間前(第1回目1/23、第2回目3/5)までに旅行代金を添えてお送りください。●各コース、そのほかはお送りさせていただく必要書類(「ご案内」「旅行取引条件説明書類」)等にてご確認ください。●民宿の空き状況によってはお申し込み締め切り後でもツアー参加が可能となる場合がございます。まずはご連絡ください。

平成28年1月12日
山形大学

1. 平成28年度大学入試センター試験の取材について

平成28年度大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。
詳細は別紙通知をご覧ください。

2. 飯豊町と株式会社山形銀行との連携・協力の協定締結

以下の日程で共同記者会見を行いますので、取材方、よろしくをお願いします。

◇日時：1月15日（金）11:30-12:00

◇場所：飯豊町起業支援施設

詳細は別紙通知をご覧ください。

3. プリントドエレクトロニクスに向けた新規印刷プロセス技術について

本日、以下の通り会見を行い、本会場（第二会議室）にもTV会議システムで配信しますので、取材方よろしくをお願いします。

◇日時：1月12日（火）14:00-15:00

◇場所：山形大学東京サテライト（港区芝浦）（事務局第二会議室）

詳細は別紙資料をご覧ください。

4. 「フランスで女性博士はどのように育成されるか」を開催します

以下の日程で開催しますので、取材方、よろしくをお願いします。

◇日時：1月20日（水）16:30-17:30

◇場所：山形大学理学部1号館1階13番教室

◇講師：Christine Detrez（クリスティーヌ デトレズ）先生

◇対象：山形大学博士課程学生、教職員、一般の方 他

詳細は別紙チラシをご覧ください。

5. 3機関合同キックオフ・シンポジウム「未来の生活創造への女性の参画」を開催します

以下の日程で開催しますので、取材方、よろしくをお願いします。

◇日時：2月4日（木）13:30-16:40

◇場所：東京第一ホテル米沢

◇講師：^{あつみなおき}渥美由喜 氏（内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー）

Dr. Elizabeth Pollitzer（エリザベス ポリッター）

◇対象：参加自由

詳細は別紙チラシをご覧ください。

6. 「第4回ビジネスプランコンテスト全国大会」で志村勉教授が優秀教員賞を受賞

12月19日に東京大学福武ラーニングシアターで開催された「第4回ビジネスプランコンテスト全国大会（主催：大学・大学院起業家教育推進ネットワーク、経済産業省）」で本学から学生の部に2チーム、教員の部に志村勉教授が「ファイナリスト」として発表し、志村教授が優秀教員賞を受賞しました。

詳細は別紙通知をご覧ください。

7. 「100年ごはん」鶴岡映画会 & 大林千茱萸^{ちぐみ}監督トークショー開催

以下の日程で開催しますので、取材方、よろしく申し上げます。

◇日時：1月23日（土）14:00-・映画終了後トーク

◇場所：鶴岡まちなかキネマ

◇定員：165名（先着順）～要予約～

詳細は別紙チラシをご覧ください。

8. 東北森林管理局・山形大学農学部連携シンポジウム「Wood Job で Good Job!」を開催します

以下の日程で開催しますので、取材方、よろしく申し上げます。

◇日時：1月29日（金）14:30-16:30

◇場所：山形大学農学部301講義室

◇参加費：無料（要申込）

詳細は別紙チラシをご覧ください。

9. 学長主催特別講演会シリーズ（第3回）を開催します（再通知）

以下の日程で開催しますので、取材方、よろしく申し上げます。

◇日時：1月29日（金）16:30-18:00

◇場所：山形大学人文学部301教室

◇講師：ピーター ランダース氏（ウォール・ストリート・ジャーナル紙東京支局長）

◇対象：学生、高校生、一般（定員203名）

詳細は別紙チラシをご覧ください。

10. 「モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会 in 大蔵2016」を開催します

以下の日程で開催しますので、取材方、よろしく申し上げます。

◇日時：2月20日（土）8:30-13:30

◇場所：山辺町大蔵の棚田

◇参加対象：中学生以上

詳細は別紙チラシをご覧ください。

11. 平成28年度 入試直前相談会を開催します

1月23日（土）に仙台会場、1月24日（日）に山形会場で開催します。

仙台会場では宮城教育大学の相談ブースも設置します。

詳細は別紙チラシをご覧ください。

以上

平成28年 1月12日
山形大学

平成28年度大学入試センター試験の取材について
— 大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。 —

◇ 大学入試センター試験の取材につきましては、別添「平成28年度大学入試センター試験の取材についてのお願い」のとおりとしますので、取材される場合は所定の期限までに各試験場担当者に連絡願います。

◇ なお、小白川地区試験場での撮影取材に当たっては、次のことに特にご留意願います。

1 1月16日(土)9時5分からの試験室撮影取材をされる場合は、理学部1号館1階ホールに8時55分(時間厳守)までにお集まり願います。

2 車で入構される場合は、大学の南門から入り、所定の報道関係者駐車場(別紙小白川地区試験場駐車場配置図を参照してください。)に駐車してください。

なお、大学正門は受験生入構のため、車等の乗り入れは禁止となっております。

(お問い合わせ先)

インフォメーション・マネージメント部入試課

前田・阿部

電話 023(628)4141

平成28年度大学入試センター試験の取材についてのお願い

－ 大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。－

山形大学

1 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試験に関する問い合わせ等については、エンロールメント・マネジメント部入試課長（☎023-628-4140(直通)）へお願いします。

2 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。

3 試験室内での撮影

試験室内での撮影は、1月16日（土）のみとし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

(1) 大学入試センター試験の撮影については、1月14日（木）正午（厳守）までに各試験場責任者の了承を得てください。

・小白川地区試験場責任者 … 小白川キャンパス長
（連絡先：小白川キャンパス事務部教務課学務担当☎023-628-4405(直通)）

・工学部試験場責任者 … 工学部長
（連絡先：工学部入試担当☎0238-26-3013(直通)）

・県立鶴岡中央高等学校試験場責任者 … 農学部長
（連絡先：農学部学務担当☎0235-28-2808(直通)）

・県立新庄神室産業高等学校試験場責任者 … 東北文教大学入試委員長
（連絡先：東北文教大学・同短期大学部入試広報課長☎023-688-2296(直通)）

(2) 1月16日（土）は、午前8時55分まで報道関係者控室等に集合してください。

(3) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可することとします。

(4) 撮影時間は、午前9時5分から10分以内とします。

必ず午前9時15分には退室してください。

(5) 撮影に当たっては、受験者に動揺を与えないよう注意するとともに、試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

(6) 受験者が特定できるような撮影は、絶対に避けてください。

(7) 本学が指定する試験室以外の「試験室」及び「試験室のある建物」への立ち入りはできません。

4 障害等のある受験者の取材

障害等のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要がありますので、試験場責任者の指示に従ってください。

5 不測の事態発生時の取材について

不測の事態が発生して、試験が中止された場合などにおいても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

- 6 当日の試験実施状況（※）は、以下の時間にエンロールメント・マネジメント部入試課から報道各社へFAX送信予定ですので、円滑な試験実施のため、試験時間中の問い合わせはご遠慮ください。
発表時間はあくまでも予定ですので、あらかじめご了承ください。

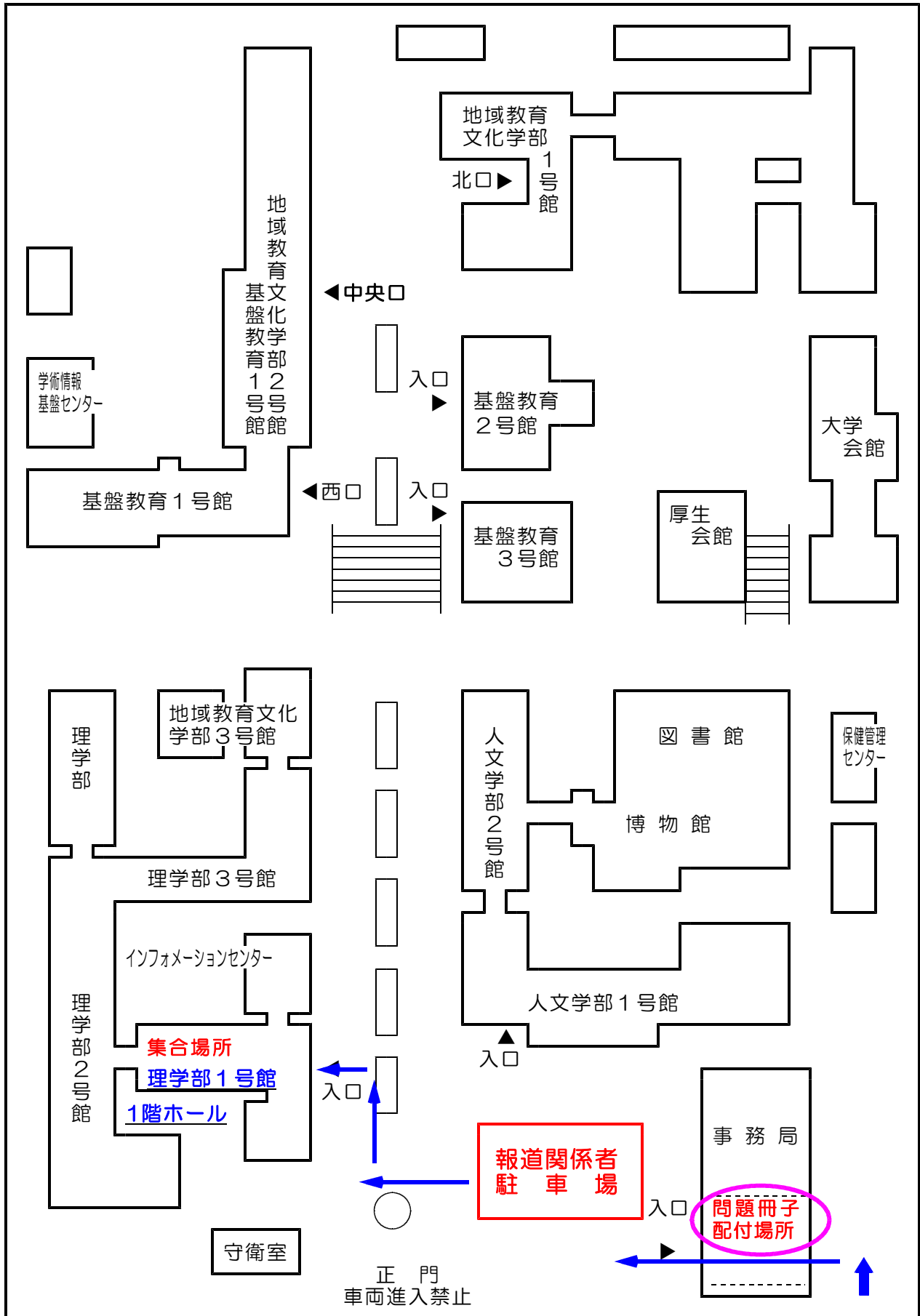
区 分	1月16日（土）				1月17日（日）			
科 目	地理歴史，公民	国語	外国語 (筆記)	英語 (リスニング)	理科①	数学①	数学②	理科②
発表予定 時間	13:20 以降	16:10 以降		18:20 以降	13:20 以降	16:05 以降		17:55 以降

（※）志願者数，欠席した者の人数，受験した者の人数をお知らせします。

7 問題冊子及び科目別正解の発表

- (1) 問題冊子は，各試験時間終了後に各試験場で配付します。
- (2) 正解及び配点は，試験終了後，大学入試センターにおいて，大学入試センターのホームページを通じて発表します。

小白川地区試験場駐車場配置図



車の出入りはできません。

平成28年1月12日
山形大学

飯豊町と株式会社山形銀行との連携・協力の協定締結

山形大学は、飯豊町と株式会社山形銀行と地域発展のための連携・協力を目的として協定書を締結いたします。

1. 目的

飯豊町及び国立大学法人山形大学並びに株式会社山形銀行が連携・協力して取り組むことにより、地方創生の先駆的事業推進等から、地域発展に寄与することを目的とする。

2. 連携事項

地域振興や企業振興による地域活性化の推進に関することなど

3. 締結日

平成28年 1月15日（金）

（参考）

次の日程で、共同記者会見を行います。

日時：平成28年1月15日（金）11：30－12：00

場所：飯豊町起業支援施設（飯豊町大字萩生1725-1）

担当：飯豊町商工観光課産業連携室

TEL:0238-87-0523 FAX:0238-72-3827

E-mail：i-sangyo@town.iide.yamagata.jp

（お問合せ先）

山形大学エンロールメント・マネジメント部社会連携課

電話 023-628-4843

山形大学記者会見次第

プリンテッドエレクトロニクスに向けた 新規印刷プロセス技術について

日時：平成 28 年 1 月 12 日（火） 14:00～15:00

会場：山形大学東京サテライト

港区芝浦 3-3-6 キャンパ^ス スイナバーションセンター 2 階

<同時配信> 山形大学事務局第二会議室

司会：山形大学特任教授 土井^{どい}まさみ

1 出席者紹介

2 ご挨拶 山形大学理事・副学長（EM・入試・社会連携担当） 大場^{おおば}よしひろ 好弘

3 発表

(1) ロール to ロール印刷方式を使ったフレキシブルデバイス製造に向けたプロセス技術

- ・インクジェット印刷を使った大面積回路
- ・親撥パターンニング法を使ったインクジェット配線の微細化
- ・有機半導体結晶性センシング技術を使ったインライン評価装置

山形大学、東レエンジニアリング

(2) 世界初の 3 次元立体物表面への回路印刷技術

- ・ソフトブランケットを用いたグラビアオフセット曲面印刷
- ・産業用ロボットを用いた全方向インクジェット印刷

山形大学

4 質疑応答

※お願い

記者会見の際に撮影された写真等については、当該発表事項及び本学に関係のない記事等への転載はご遠慮ください。参考資料としての使用を希望される場合は、山形大学のキャプションを必ず入れてください。不明な点がございましたら本学広報室までご連絡願います（担当：樋口 電話：090-7332-7472 Mail：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp）。

フランスで女性博士は どのように育成されるか

大学院進学セミナー

2016年

日時

1/20 (水) 16:30 ~ 17:30

(講演30分、懇談会30分)

参加費無料!
(託児付き)

場所

山形大学小白川キャンパス
理学部 1号館 1階 13番教室

講師

クリスティーヌ デトレーズ
Christine Detrez 先生

講師



プロフィール

- ・リヨン国立高等師範学校 社会学教授 (2001年~)
- ・フランス国立科学センター及びフランス政府共同プロジェクト「平等、科学、思考」プロジェクトリーダー (2013年~)
- ・国立ジェンダー研究ネットワーク ボードメンバー

対象

山形大学大学院生、教職員
学部生、一般の方 他
(定員 20名程度)

お問合せ先・申し込み

国立大学法人山形大学男女共同参画推進室

TEL 023-628-4937 FAX 023-628-4014

E-MAIL: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

<主催> 山形大学・大日本印刷株式会社研究開発センター・山形県立米沢栄養大学

<共催> 博士課程教育リーディングプログラム フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院

女性のための 大学院進学セミナー

女性研究者や女性大学院生・学部生等を対象に、フランスでの博士課程進学状況や女性博士の育成についての講演および講師との懇談会を開催します。講演者や参加者との質疑応答や意見交換を通して、女性の博士課程進学への関心を高めることを目的とします。

申込締切：2016年1月18日(月)必着

参加申込書 FAX：023-628-4014

お名前	
ご住所	
電話番号	
所属	
託児希望の場合 ●対象：生後6か月～就学前の乳幼児 ●申込締切：1/13(水)	お子さんの名前： 年齢： 歳 ヶ月 性別： アレルギーの有無：

電話およびEメールでも受け付けます。

ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、他には一切使用しません。

お問合せ／申し込み

国立大学法人山形大学 男女共同参画推進室

TEL：023-628-4937／4939 FAX：023-628-4014

E-MAIL: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

3機関合同 キックオフ・シンポジウム

未来の生活創造への 女性の参画

託児付き



日時 2016年2月4日(木) 13:30~16:40
(情報交換会17:00~18:30)

参加費 **無料** どなたでも参加自由です。
※要申し込み。詳しくは裏面をご覧ください。

場所 東京第一ホテル米沢 2階ボールルームウエスト
山形県米沢市中央1-13-3 / TEL. 0238-24-0411 (代表)

講師プロフィール

基調講演

あつみ なおき
渥美 由喜氏

- ・内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー
- ・厚生労働省政策評価に関する有識者会議 委員 (民間シンクタンク 研究部長)



特別講演

エリザベス ポリッター
Dr. Elizabeth Pollitzer

ロンドンの女性研究者団体「ポーシャ」(1997)の共同設立者。科学技術分野(STEM)における男女平等に取り組んでいる。EU欧州委員会のジェンダー問題専門アドバイザー



スケジュール

司会進行 / 小林 直美 (山形大学男女共同参画推進室)

13:00~ 受付
13:30~13:35 開会挨拶
山形大学長 小山 清人
13:35~13:45 連携機関挨拶
大日本印刷株式会社 研究開発センター エキスパート 桑原 尚子
山形県立米沢栄養大学 健康栄養学部長 大和田浩子
13:45~13:55 取組報告
[3機関によるダイバーシティ連携推進の状況]
ダイバーシティ連携推進会議
13:55~14:55 基調講演
[大学・企業に、今なぜダイバーシティが必要か]
内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー あつみ なおき 渥美 由喜氏

14:55~15:55 特別講演
[研究・イノベーション・発展におけるジェンダーの新たな視点 ~男女共同参画は女性に限らない~]
EU欧州委員会 エリザベス ポリッター ジェンダー問題専門アドバイザー Dr. Elizabeth Pollitzer
15:55~16:05 休憩
16:05~16:35 講師と会場参加者との質疑応答
あつみ なおき 渥美 由喜氏 エリザベス ポリッター Dr. Elizabeth Pollitzer
16:35~16:40 閉会挨拶
17:00~18:30 情報交換会 (ミュージックホール)

お問い合わせ・お申し込み先

国立大学法人山形大学
男女共同参画推進室米沢分室

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16 山形大学工学部
TEL.0238-26-3356 / 3359
FAX. 0238-26-3398 / E-mail y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

3機関合同 キックオフ・シンポジウム

山形大学を代表機関とし、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学との連携による平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）の採択を受け、「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」をテーマに、ダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでいるところです。

この度、3機関によるキックオフ・シンポジウムを開催し、国内外で先導的な役割を担っている方々から、ダイバーシティ研究環境の実現について、また、近年の科学技術分野における男女共同参画の動向についてご講演いただきます。

さらに3機関の関係者、地域の参加者と講演者との質疑応答や意見交換を通して、働き方の多様性を認め、誰もが活躍できる環境創りについて意識を高め合い、交流を深めます。

Access



申込締切：2016年1月25日(月)必着

参加申し込み書 (このままFAXしてください)

FAX:0238-26-3398

連絡先等をご記入ください。 ※選択項目はレ点チェックをご記入ください。

お名前			
ご住所			
電話番号			
所属			
託児希望の場合	お子様の名前:	年齢:	歳 月
	性別: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	アレルギー: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	アレルギーの種類
情報交換会の参加 (会費4,000円)	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加		

・電話及びEメールでも受け付けます。 ・ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、他には一切使用しません。
 ・当日参加希望の場合は、直接会場にてお申し込みください。

お問合せ
申し込み

**国立大学法人山形大学
男女共同参画推進室米沢分室**

山形県米沢市城南四丁目3-16 山形大学工学部
 TEL.0238-26-3356/3359 FAX.0238-26-3398
 E-mail y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年1月12日
山形大学

「第4回ビジネスプランコンテスト全国大会」で 志村勉教授が優秀教員賞を受賞

12月19日に東京大学福武ラーニングシアターで開催された「第4回ビジネスプランコンテスト全国大会（主催：大学・大学院起業家教育推進ネットワーク、経済産業省）」で本学から学生の部に2チーム、教員の部に志村勉教授が「ファイナリスト」として発表し、志村教授が優秀教員賞を受賞しました。

この大会は、「日本の起業家教育の質を向上させるために、教員・学生・起業家・実務家の意見交換・ネットワークの場」として開催されるもので、今回、学生の部では79チームから申請されたビジネスプランの中から厳正な書類選考を通過した9チームがファイナリストとして発表しました（1大学から2チームの選考は山形大学のみ）。また、今回初めて実施された起業家教育を実施する大学・大学院教員の部では、起業家教育講義の実施内容等による書類選考を通過した4名の教員が発表しました。

学生の部「ELDK」の理工学研究科バイオ化学工学専攻1年の丸山寛花さんと工学部バイオ化学科4年の及川裕香さんは、「有機EL窓の企画・窓口風景映像配信サービス事業」について、「3DSquirrel」の理工学研究科機械システム工学専攻博士課程1年の山田直也さんと工学部応用生命システム工学科4年の中川一貫さんは、「3Dバーチャルブロック造形システムとデータプラットフォームホーム事業」について、それぞれ堂々とした発表を行いました。また、志村教授は「市場創造特論」「マーケティング・戦略論Ⅰ・Ⅱ」について発表しました。

優秀教員賞を受賞した志村教授は、「学生のグランプリを目標にしていたので、嬉しさは半分以下ですが、学生の頑張りを讃えたいです。前夜も11時位まで一緒にディスカッションしましたが、彼らはもっと続けていたようです」とコメントしました。なお、優秀教員賞を受賞した志村教授には副賞として「起業家教育における全米第一の実践校である米国バブソン大学他東海岸の大学への派遣」が授与されました。



（お問合せ先）

学術研究院・教授
ものづくり技術経営学専攻副専攻長
しむら つとむ
志村 勉

電話：0238-26-3718

Mail：sim@yz.yamagata-u.ac.jp



100年

大林千菜莢 ● 監督作品



「100年単位の仕事」に携わる人々の物語。
繋がり廻る命の道筋を紡ぐ人々の群像劇。
未来を生きる、生きとし生けるものたち。
いまを生きる、生きとし生けるものたち。
過去を生きた、生きとし生けるものたち。

物語を繋ぐ人々
近衛はな(ワタシ) 大谷賢治郎(アナタ)

登場する人々
白杵市農家の皆さん 白杵市民の皆さん 白杵市役所の皆さん

映像を紡ぐ人々
製作：山崎輝道 / 製作補：辛島奈緒美 / 脚本：森泉岳士 大林千菜莢 / 撮影：川上康弘 / 音楽：山下康介
撮影協力：白杵市 白杵市教育委員会 公益社団法人白杵市環境保全型農林振興公社 白杵市土づくりセンター
「給食畑の野菜」有機農業推進協議会 「ほんまもの里・うすき」農業推進協議会 白杵学校給食センター 野津学校給食センター
白杵市立野津小学校 白杵市立白杵南小学校 白杵市立南野津幼稚園 農事組合法人赤峰農場
特別感謝：中野五郎 後藤國利 赤峰勝人 佐藤信介 広瀬勝貞
企画 / 製作：©2013 「100年ごはん」製作委員会 株式会社T.Mエンタテインメント



「ワタシが住む白杵市が、新しい試みをはじめました」——。有機農業をめぐる“はじめのはじまり”ドキュメンタリー。

◆ 解説

はじめの一步は百歩分！有機農業をめぐる大分県白杵市の人々の記録映画。やがてその取り組みは農業だけではなく、林業、教育、給食センターや飲食業、NPOへと繋がり、人々の暮らしの中へと広がってゆく。「いまのワタシ」(近衛はな)が「100年後のアナタ」(大谷賢治郎)に語りかけるといふドラマを編み込むことで、「過去」「いま」「未来」は地つづきであると、立体的に浮かびあがる。料理家でもある大林千菜莢監督は、この作品のために4年間白杵市に足を運び、撮影素材は120時間。音楽には数多くの映画音楽で活躍する山下康介。主題歌に宮武希。おいしい白杵のお野菜と共に描かれる“自然との共生=リビング・ハーモニー”を奏でる人々の群像劇。

◆ 物語

「新しいけど、昔から大切なこと。健全な魂は、健康な食べ物から。健康な食べ物は、健全な土から」。無化学合成農薬・無化学肥料の野菜作りを推進する大分県白杵市は、2010年に、草木8割、豚糞2割を主原料とした堆肥を製造する「白杵市土づくりセンター」を開設。慣行農業から有機農業に転換する生産者や、あたらしく農業をはじめ市民が現れる。そしてマーケットの現状は？消費者は？——。将来的には子どもたちの給食を白杵の野菜でまかないたい。全国でもはじめての試みに試行錯誤しながらも、白杵市と市民たちが前へ向かってゆく姿をとし、現代の「食」にとって何がほんとうに大切なかを考える、“ワタシ”から“アナタ”へ宛てたメッセージ。



白杵市ってこんなところ

白杵市は大分県の東海岸に位置する、人口約4万人の小さな市。醸造業や造船業など第二次産業が盛んだった白杵市に、農業の盛んな大野郡野津町が合併した2005年より、有機農業への取り組みを開始。海と山を備えた地形のため、食材だけでなく景色も美しく、たびたび映画の舞台になっている。本作の監督・大林千菜莢の父である大林宣彦監督も「なごり雪」「22の別れ Lycoris 葉見ず花見ず物語」と二本の映画を撮影。その緑が本作の誕生にも繋がっている。

監督 ● 大林千菜莢 (おおばやし・ちぐみ)

東京都生まれ。「天皇の料理番」元宮内庁東宮御所大膳課主厨・渡辺誠氏に師事し、料理家としても活躍。西洋食作法講師・ホットサンド倶楽部主催と様々な肩書きを持つ。11歳で「ハウス/HOUSE」(77)原案。14歳より映画思想家として、文筆業開始。大林宣彦監督作品では、メイキングや音楽コーディネートなどを担当。AKB48の「So long!」(13)MVでは数エピソードの脚本・演出を行う。うえだ城下町映画祭自主制作映画コンテストでは審査員を務める。本作が単独監督初デビュー作品となる。著書に「ホットサンドレシビ100」(シンコーミュージック刊)、責任編集本には「リュック・ベッソン」(キネマ旬報社刊)など。

2016年1月23日 午後2時~/1000円/鶴岡まちなかキネマ
おおばやしちぐみ
鶴岡映写会 & 大林千菜莢監督トークショー

100

おおばやしちぐみ

100年 鶴岡映画会 & 大林千茱萸監督トークショー

2016年1月23日 午後2時～・映画終了後トーク

1000円 (映画&スペシャルミニごはん&トークショー付)
定員 165名(先着順)

鶴岡まちなかキネマ 鶴岡市山王町13-36

トークゲスト

大林 千茱萸 氏 (100年ごはん 監督)

菅原 典子 氏 (鶴岡食文化女性リポーター・食生活改善推進委員)

叶野 幸衛 氏 (野菜農場 叶野)

小野寺 紀允 氏 (やさいの荘の家庭料理 菜あ)

進行

平 智 氏 (山形大学農学部 教授)

～スペシャルミニごはん～

おむすびにスープが付きます

～要予約～

準備の都合上、事前にチケットの購入
またはお申し込みをお願いいたします。

お問合せ

主催

山形大学農学部地域産学官連携協議会 山形大学農学部企画広報室
鶴岡市若葉町1-23 0235-28-2910 nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山大農学部「おしゃべりな畑」映画『100年ごはん』上映実行委員会



東北森林管理局・山形大学農学部
連携シンポジウム



Wood Job で Good Job!

～これから森で働くみなさんへ～

平成28年1月29日(金)

時間/ 14:30～16:30

会場/ 山形大学農学部

3号館3階301講義室 (鶴岡市若葉町1-23)

参加費/無料 (要申込)

お申し込み先/山形大学農学部企画広報室

TEL:0235-28-2803

FAX:0235-28-2812

E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

<発表> 14:35～15:55

●パネリスト

東北森林管理局企画調整課長
川原 聡

庄内総合支庁森林整備課
専門林業普及指導員

丹野 雄一

温海町森林組合森林施業プランナー
長谷川 義晃

日本製紙木材株式会社東北支店
原材料部部長代理

石井 謙次

<パネルディスカッション>

16:00～16:30

●コーディネーター

山形大学農学部教授

芦谷 竜矢



山形大学農学部・東北森林管理局連携シンポジウム

Wood Job で Good Job!

～これから森で働くみなさんへ～

日時:平成28年1月29日(金)14:30～ ※参加無料

「山形大学農学部・東北森林管理局連携シンポジウム」 参加申込書

下記の項目にご記入の上、FAXまたは郵便でお送りください。

ふりがな		参加人数 (複数でご参加の場合)	名
お名前			
お電話		(ご自宅・職場・携帯)	
FAX		(ご自宅・職場)	
申込期限	平成28年1月25日(月)		

【会場案内図】



◎お問い合わせ・お申し込み先

山形大学農学部企画広報室

〒997-8555

山形県鶴岡市若葉町1-23

TEL: 0235-28-2803

FAX: 0235-28-2812

E-mail:

nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第3回 学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」

多文化共生と グローバル人材

平成28年

1月29日（金）

16:30～18:00

会 場：山形大学小白川キャンパス
人文学部1号館301教室



【講師プロフィール】

イエール大学を卒業後、アメリカの経済紙ウォール・ストリート・ジャーナル紙のワシントンD.C.支局、ニューヨーク支局で編集者として勤務し、現在は、ウォール・ストリート・ジャーナル紙の東京支局長を務める。

また日本語に堪能なことから、「朝まで生テレビ!」や「情報7days ニュースキャスター」などのテレビ番組にも出演している。

司 会：土井 正己・山形大学特任教授

16:30 開会の挨拶 山形大学長 小山 清人

16:40 講 演

講 師：**ピーター・ランダース 氏**

（ウォール・ストリート・ジャーナル紙 東京支局長）

17:30 対 談（ランダース氏、小山学長）

18:00 閉 会

◆ 対 象：学生、高校生、一般（定員203名）※定員になり次第締切

◆ お申込み方法：住所、氏名（ふりがな）、年齢（学生の場合は大学・学部・学科）、電話番号をご記入の上、Eメールでお申込み下さい。

送 信 先：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

◆ 締 切：平成28年1月27日（水）

お問い合わせ先

山形大学総務部総務課広報室 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL: 023-628-4008 FAX: 023-628-4013 <http://www.yamagata-u.ac.jp>



会場へのアクセス・
お申込みメールアドレスは
こちらから



モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会in大蔵2016



参加チーム
大募集!!

優勝チームには
棚田米1俵(60kg)贈呈!!



2016
2/20(土)

山辺町大蔵の棚田

8:30~13:30

■スケジュール

- 8:30 受付
- 8:45 開会式
- 9:00 ウォーミングアップ
- 9:30 予選リーグ(8試合)
- 11:45 決勝・3位決定戦
- 12:10 閉会式
- 12:30 昼食会
- 13:30 解散

- 参加費:1チーム3,000円
- 対象:中学生以上
- 募集チーム数:先着10チーム
- 参加賞:各チームに舞米豚

申込み締切
2月10日(水)
16:00まで

主催:大学コンソーシアムやまがた、中地区有志の会 共催:山辺町
協力:公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会、(株)モンテディオ
山形、グループ農夫の会

詳細は裏面へ→

モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会 in 大蔵2016

参加者募集

- 1. 目的**

「モンテ棚田米発祥の地」である山辺町大蔵の棚田の中でサッカーを行うことを通して、モンテディオ山形のチームとサポーター、サッカーファンそしてモンテディオ山形のホームタウン住民が交流を深める場を創出するとともに、「棚田での雪中サッカー」という新たなサッカーの楽しみ方を体験してもらうことで、モンテディオ山形を起点とした元気な地域づくりに貢献します。
- 2. 日時**

平成28年2月20日（土）8:30-13:30
- 3. 会場**

山辺町大蔵の棚田
【駐車場等については、当日、中支所・中公民館付近(〒990-0341山辺町大字大蔵1164-1)からスタッフが御案内いたします。】
- 4. 主催・共催・協力**

主 催：大学コンソーシアムやまがた、中地区有志の会
共 催：山辺町
協 力：公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会、株モンテディオ山形、グループ農夫の会
- 5. 参加費（昼食時に提供する「わらび汁」代等含む。）**

1チーム 3,000円
- 6. 参加対象**

中学生以上
- 7. 募集チーム数**

先着 10 チーム（6人でエントリーし、試合は5人が出場する。5人のうち1人はゴールキーパー。）
- 8. 内容**

競技方式：予選／3チームずつ4コートに分かれてリーグ戦を行う。（内2チームはモンテディオ山形のジュニアユースチームが参加）
決勝／各コートの上位1チームでトーナメント戦を実施し、優勝を決める。負けたチーム同士で、3位決定戦を行う。
試合形式：フットサルに準じた特別ルールを採用、6分ハーフ制
景 品：優勝チームへ棚田米 1俵（60kg）
参 加 賞：各チームに山辺が誇るブランド豚「舞米豚」（2kg）
服 装：原則、長靴を使用する。
雪上での大会ですので、温かい格好でご参加ください。
持 ち 物：おにぎり、飲み物等（昼食に「わらび汁」を提供します。）
※その他、当日の日程については表面をご覧ください。
- 9. 参加申し込み（必ずチームでお申し込みください。）**

参加者全員の①お名前、②年齢、③性別、④代表者の電話番号、⑤チーム名、⑥チームのプロフィールを書いて（記載形式自由）、FAXまたはメールで下記の「お申込先」までお送りください。
申込締切は 2月10日(水) 16:00 まで。参加費は当日受付でお支払いください。

【お申込先】山辺町産業課（FAX:023-667-1108／E-mail: sakai@town.yamanobe.yamagata.jp）

～モンテディオ山形杯～雪中棚田サッカー大会 in 大蔵【参加申込書】

氏 名 <フリガナ>	年 齢	性 別	代表者の連絡先（携帯）
1. <small>【代表者名】</small>			TEL:
2.			チーム名／チームのプロフィール
3.			<small>【チーム名】</small>
4.			<small>【プロフィール】</small>
5.			
6.			

山形大学

平成
28
年度

入試直前相談会

仙台会場(1/23^土)では「宮城教育大学」の相談ブースも設置します。

**大学
概要等説明**

仙台会場 / 13:30~13:55
山形会場 / 13:00~13:25

**各学部
個別相談
コーナー**

**在学生
相談
コーナー**

**資料配付
コーナー
願書配付!**

受験生とその保護者の方から、高校教員、入試関係者の方々まで

仙台会場

◎日時: 平成28年 **1/23^土** 入退出自由
13:30~16:00

◎会場: 仙台ガーデンパレス(2階 鳳凰)
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-5



<自家用車でお越しの方>

※有料地下駐車場をご利用いただけますが、数に限りがございますので、予めご了承ください。

<仙台駅より徒歩でお越しの方>

□JR線: 仙台駅東口より徒歩約3分

山形会場

◎日時: 平成28年 **1/24^日** 入退出自由
13:00~15:00

◎会場: 山形大学理学部(小白川キャンパス)1F [11~14番講義室]
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12



<自家用車でお越しの方>

※駐車場につきましては、山形大学小白川キャンパス駐車場(正門を右側)をご利用ください。

※駐車スペースに限りがございますので、予めご了承ください。

※駐車場内における事故等につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承ください。

※山形駅東口バスロータリーより発着(係員がご案内いたします。)

※右記時刻表を参照ください。

◎シャトルバス時刻表

山形駅発	山形大学
12:15	—
12:45	—
13:15	13:30
13:45	14:00
14:15	14:30
—	15:15

**在学生が入試のアレコレを
親身にアドバイス!!**

事前申込は不要です。直接ご来場ください。

全学部の入試担当教職員が参加いたします。

担当: 山形大学エンrollment・マネジメント部EM企画課

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4062 FAX:023-628-4491 e-mail:enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

学生目線による大学創り
山形大学
http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html

リサイクル推進 ②
この冊子は、印刷物のリサイクルできます。



山形大学の携帯サイトはコチラ

入試に関するギモン解決のために、ぜひ、ご参加ください。